

特36

379

學務職員  
必携  
學事  
法規  
類纂

高橋直吉

編輯



上杉直温閣  
高橋直告輯

學務職員必携  
學事法規類纂

三編

全

版權所有

聚珍社藏



目次

一 學區ノ部	壹
一 教則ノ部	六
一 就學督責ノ部	九
一 學務委員ノ部	十三
一 學事表ノ部	廿六
一 中學校ノ部	廿七
一 學校職員ノ部	廿九

2  
613  
088

學務職員必携學事法規類纂

目次







一 雜 則 ノ 部

卅 四 丁

目 次 畢

學務職 學事法規類纂參編

大 和 上 杉 直 温 閑  
同 高 橋 直 吉 輯

學 區 ノ 部

(愛媛縣伺) 十四年三月十日

文部省本年第一號小學校設置區域等指示方心得第一項ニ  
學區ノ境界ハ一町村ノ境界若クハ數町村ノ境界ト符合ス  
ルヲ要スト有之右ハ町村立小學校ノ經費ハ町村協議費ノ  
支辦スル所ニシテ其町村會ハ町村內一般ニ關スル事件及  
經費ヲ議スルモ其一部若クハ幾部ニノニ關係セル者ヲ議  
スヘキ性質ニ無之故ニ學區ト町村ノ境界ハ必ス符合ヲ要



スル儀ニ可有之然ル處本縣ノ如キハ過半山嶽重疊人烟稀疎ニシテ一村部落ト稱スル者ノ如キモ袤延數里ノ長キニ及ヒ而シテ其首尾ノ部落ハ却テ隣村ノ部落ニ接近シ自然一村部落ノ體裁ヲ爲シ從來利害ヲ相共ニセルヲ以テ學校設立及支持方法ノ如キモ亦協同シテ之カ計畫ヲナセリ是等ノ如キ者今俄ニ本村ノ學區ニ組入ルモ分校ヲ設置スル資力ニ乏シク又巡回授業モ施ス可カラサル場所等往々有之候條實際困難ノ分ニ限り當分舊慣ニヨリ其町村ノ一部若クハ幾部ヲ割テ之ヲ他ノ一部若クハ數部又ハ一村等ニ合シ學區ヲ畫シ經費辨給其他關係ノ事仲ハ明治十三年四月太政官第十八號布告區町村會法第八條ニ基キ前顯集合ノ學區限リ規則ヲ設ケ成規ノ手續ヲ經テ施行候様致度候條

至急御指揮相成度此段相伺候也

(指令) 七月廿九日

書面伺ノ趣縣令ニ於テ不得已事情アリト認ムル儀ニ候ハ本年第三拾八號公布ニ準據シ不苦候事

(神奈川縣伺) 十四年三月廿六日

小學校設置區域ノ議ニ付左ノ通相伺候間至急何分ノ御指揮有之度候也

一村ヲ分割シ二學區以上トナシ又ハ一村ノ一部ヲ割テ他村ニ組ミ入ル、等ノ議ハ他勢ノ便否ニ關セヌ不相成議ニ候哉  
國界又ハ郡區ノ境界等ハ甲乙學區ニ相跨リ候モ不苦議ニ候哉



(指令) 七月廿九日

書面伺ノ趣

第一項 縣令ニ於テ不得已事情アリト認ムル儀ニ候ハ  
、本年第三十八號公布ニ準據致シ不苦候事

第二項伺之通

(和歌山縣伺) 十四年二月十五日

御省本年第一號御達中左ノ各項疑義ニ涉リ候ニ付何分ノ  
儀至急御指揮相成度此段相伺候也

第一 甲村ノ支郷乙村附近ノ地ニ位シ本村ト距離隔絶シ  
就學ニ便ナラサル地方アリ右等ハ實地ノ便ニ隨ヒ適宜  
ニ區域定ムルモ無妨哉

第二 僻陬七八戸乃至二十戸未滿ヲ以テ一部落ヲ成シ本

村又ハ他村ト其距離二三十町若クハ四五十町ヲ隔テ溪  
山其間ヲ縈紆シ獨立ノ力モナク又聯合ノ便ヲ有セス巡  
回授業ノ方法ヲモ施行スヘカラサル地方アリ右等ハ別  
ニ學區ノ制ヲ設ケサルモ無妨哉

第三 學區指定ノ上ハ每郡ヲ分チ番號ヲ附スルカ又ハ所  
在町村ノ名稱或ハ校名ヲ其學區ノ上ニ冒稱スルモ無妨  
哉

(指令) 八月二日

書面伺ノ趣

第一條 縣令ニ於テ不得止事情アリト認ムル儀ニ候ハ  
、本年第三十八號公布ニ據リ別ニ區域ヲ定メ不苦候  
事



第二條 本條ノ如キ部落ト雖モ學區ノ制ヲ設クヘキハ  
勿論便宜小學校若クハ巡回授業ノ方法等施行セサル  
ヲ得サル儀ト可心得事

第三條 同ノ通

(長崎縣伺) 三月九日

小學區域ノ儀ハ文部卿ヨリ御内達ノ旨モ有之可成町村ノ  
區域ニ從ヒ相定候心得ニ候處當縣管内ノ儀ハ舊藩中町村  
ノ合併不少中ニハ拾數村ヲ併セタル者モ有之隨テ地形ノ  
不便ヲ生シ諸般ノ取扱等自ラ舊村ノ慣習ニ依リ各區別ヲ  
立テタルモノ多クニシテ小學區域ノ如キ實ニ困難ノ情態  
有之其例ヲ學レハ人家東西兩部ニ分レタル一村アリテ東  
部ニ學校ヲ設立スルモ西部トノ間ニ山林田野アリ相距ル

一里有餘ナルヲ以テ學令ノ兒童通學スル能ハス却テ隣村  
某校トハ離落接續平均數町ニ過キサルモノアリ又ハ舊城  
下等ニシテ其區域タル西部ニ跨リ數町村ニ分レ且郡役所  
ノ所轄ヲ異ニスルモ舊藩來一團結ヲ爲シテ萬事共同セシ  
モノアリ右等ハ總テ町村ノ區域ヲ分離シ或ハ甲乙ノ幾分  
部ヲ合併スルニ非カレハ實際差支ヲ生シ候ニ付不得已分  
離合併ノ心得ニ有之候處町村會法ニ於テ是等一部分ニ係  
ルモノヲ議定スルノ方法無之ニ付學費ノ支出ハ總テ人民  
相互ノ申合ニ任セサルヲ得ス然ルニ普通教育ノ利益未ダ  
全ク民心ニ感孚セズ從來苦情多キノ學費ナレハ戶長學務  
委員等戶毎ニ説キ人毎ニ論スモ異論百出容易ニ熟議ニ至  
ラス縱令一時熟議スルモ不納者ナキヲ保タス其不納者ハ



町村會ニ於テ評決シタカ如キニアラサレハ之ヲ裁判ニ訴  
フルモ其効ナク從テ豫算上不足ヲ生シ學費ノ困難ヲ來シ  
遂ニ瓦解ニ及フハ必然ノ勢ニ有之況ヤ現在ノ學校不完全  
ニシテ其學齡兒童ヲ教育スルニ足ルモノハ百分ノ一ニ過  
キス多クハ増築又ハ新設ヲ要スルノ際ニ候得ハ旁以學費  
ハ特ニ區町村會法第八條ヲ適用シテ支出方法ヲ評決セシ  
ムルニ非サレハ諸般ノ施設終ニ徒法ニ屬スヘクト相考候  
條實際ノ事情御洞察ノ上至急御許可相成度此段重テ相伺  
候也

追テ本案御採可難相成候ニ候ハ、別ニ適實ノ方法御設  
置ニ相成度此段申添候也

(指令) 五月二日

書而伺ノ趣本年第三十八號公布ニ準據致シ不苦候事

(静岡縣伺) 五月二日

教育令第九條ノ旨趣ニ基キ當縣學區創定致候ニ際シ從來  
小學校設立區域ニ就キ取調候處管下駿河國藤枝宿ノ如キ  
ハ志太益津二郡ニ涉リ他村ト聯合シ數學區ニ相成畜ニ郡  
ノ境界符合セサルノミナラス町村ノ境界モ亦符合致カス  
同驛ノ義ハ元來一宿名ニ候ヘ共八ヶ町ニテ組織ヲナスカ  
故ニ其町々各他村ト聯結シテ一學校ヲ設置シ有之今之ヲ  
改メテ一驛一區トナシ候テハ將來維持上ニ困難モ有之候  
義ニ付右等ノ向ハ姑ク從來ノ成立ニヨリ學區指定致不苦  
候哉至急伺分ノ御指揮相仰候也

(指令) 八月二日



書而伺ノ趣本年第三十八號公布ニ準據致シ不苦候事

(和歌山縣伺) 四月七日

本年御省第一號御達中疑義

第一 第三條ニ示サレタル敷小學校トハ同種ノ小學校等  
又ハ初等々ノ區ニシテ各其經濟ヲ殊異ニスルモ差支ナ  
別ナキヲ云フ  
キ義ニ候哉

第二 全條中ニ在ル分校ハ元ヨリ本校教師ノ監督ヲ受ケ  
本校ノ教則ヲ履行スル者ニシテ其經濟ニ至テハ全ク本  
校ト分離スルモ差支ナキ哉

右相伺候條何分ノ儀至急御指揮相伺候也

(指令) 八月三日

書面伺ノ趣縣令ニ於テ不得已場合ト認ムルモノニ限り伺

ノ通

(新潟縣伺) 七月廿日

當縣下ノ儀ハ一村數字ニ分派シ一字一村ノ狀ヲナスモノ  
間々有之コノ類ハ從來村界ノ如何ニ抱ラス譬ハ爰ニ甲乙  
丙村アリ甲村中一二字ハ乙村ト聯合シテ學校致設置又他  
ノ二三字ハ丙村ト聯合シテ學校致設置一村兩組ニ致分裂  
候場所所有之候處右ハ御省本年一月第一號御達第一條第一項  
ニ抵觸致シ候義トハ被存候得共今之チ一村一學區ニ組替  
ントスレハ兒童通學ノ便ヲ歛キ同條第二項ニ悖ルノミナ  
ラス經費上ニ差響旁處分上聊カ困難ヲ免レス候處御省本  
年一月御内達ノ旨趣モ有之ニ付如斯情態アルモノニ限り一  
村兩學區ニ分裂候モ敢テ不都合ノ筋無之候哉右ハ指掛候



義ニ付駛急何分ノ御指揮相成度此段相伺候也

(指令) 八月五日

書面伺ノ趣縣令ニ於テ不得已事情アリト認ムル議ニ候ハ  
、本年第三十八號公布ニ準據可致事

教則之部

(宮城縣伺) 二月七日 (電報)

教育令第十五條中十六週日トアルハ日曜日等ノ休暇モ籠  
ルカ至急御指揮ヲ乞フ

(指令) 二月十日 (電報)

教育令第十五條中十六週日トアルハ日曜日ノ休暇ヲ含ム  
其他ノ休日ハ含マズ

(山形縣伺) 二月廿六日

教育令第二十三條小學校教則ハ府知事縣令土地ノ情況ヲ  
量リ編制御認可ノ上管内ニ施行スト有之右ハ教則ニ限リ  
候儀ニテ其他生徒入退學規則試驗法生徒心得生徒罰則或  
ハ寄宿舎規則教員職務心得ノ類モ御省經伺ノ上ハ一般施  
行候儀苦カル間敷候哉教則ノ儀ハ不日綱領御頒布ノ趣ニ  
候得共其他ノ規則目今編制中ニ付此段相伺候條至急御指  
令相成度候也

(指令) 四月三十日

書面伺之趣

試驗法ハ教則ニ属スルモノニ付小學教則ト共ニ經伺ノ  
上一般施行候儀不苦候事

生徒入退學規則生徒心得生徒罰則或ハ寄宿舎規則教員



職務心得ノ類ハ其書而不差出候テハ難及何分ノ指令候事

(宮城縣伺) 六月十四日 (電報)

小學教科書ニ萬國史ヲ併セ用ヒルモ宜シキヤ電報ニテ御指揮ヲ乞フ

(指令) 六月十六日 (電報)

小學校ニ於テ萬國史ヲ授クルコトヲ要セス

(青森縣伺) 六月十八日 (電報)

家庭教育ハ其町村小學教則ニ據ルモノ而已ヲ認可セシメ可然カ或ハ適宜認可セシメテ可然カ至急指令ヲ乞フ

(指令) 六月廿一日 (電報)

家庭教育ハ其學科程度大略其町村小學校教則ニ據ル者ハ之ヲ許スヘシ

(愛知縣伺) 十月廿五日

縣下海東郡陶成學校ノ義昨明治十三年八月開設イタシ教則等其際經伺ノ上師範學科豫備ノ科程ヲ以テ生徒養成イタシ來候處本年太政官第五十二號公布有之ニ付テハ右學校等位ノ義師範學校ニ準擬スヘキヤ否伺出候ニ付熟ラ該校ノ性質等稽考候處勿論小學校トハ異ナレド又一般師範學校トモ見做シ難ク則チ同校へ入學スヘキ生徒ヲ養成スル豫備ノ學校ニ付師範學校ノ下小學校ノ上ニ位スヘキ様被存候然ルルハ右校長教員等ノ取扱ハ師範學校ニ準スヘキヤ將又小學校同様ニテ可然哉本年御省第二十三號達ノ趣モ有之ニ付相伺候條右等位及校長教員取扱方等何分ノ御指揮相成度此段相伺候也



(指令) 十二月十四日

書面伺ノ趣小學校ニ準スル儀ト可心得事

(神奈川縣伺) 十一月十八日

小學校教則ノ儀先般經伺ノ上施行候處從前各小學校ニ於テ編製ノ教則タル之ヲ新教則ニ比較スルニ頗ル不完備ノモノ多ク且各學科ニ於テモ長短參差ノ不同アルヲ以現生徒ヲシテ新教則ニ倣ハシムルニ當テハ專ラ其實力ニ據リ相當ノ學期ニ擬シ些少ノ欠修科アルカ如キハ該學期內ニ於テ補修セシムル等便宜可取計見込ニ候得共學齡兒童ノ内既ニ舊教則ニヨリ全科卒業ノ者又ハ舊教則若干ノ學期ヲ卒リ退學スル者等ノ如キ新教則ノ順序ヲ履ミ得サル者ハ專既往ニ屬スルヲ以テ就學督責等ノ上ニ於テハ學科ノ

完不完等ハ姑ク置キ新舊學期ヲ比照シ舊教則三ケ年ノ課程ヲ卒リシ者ハ初等科卒業ト見做シ中等科以上ニ至テモ右ニ準シ舊教則七ケ年ノ學期ヲ備ヘタル以上ノ全學科ヲ卒業セシ者ハ高等科卒業トシ取調可然候哉目下調査上疑義有之候ニ付至急御指示有之度此段相伺候也

(指令) 十二月十五日

書面伺ノ通

(長崎縣伺) 十二月八日 (電報)

中學校教則大綱第九條但書必須ノ外國語學トハ佛、蘭、獨乙語等ノコトヲ云フヤ又ハ英語ノ今一層委シキヲ云ノ主意ナルヤ至急御指示ヲ乞フ

(指令) 十二月十三日 (電報)



十二月八日付電報伺ノ義ハ大學ニテ英語ヲ以テ教フル學科ニハ英語獨乙語ヲ以テスル學科ニハ獨乙語ヲ要ス等ノ義ト可心得

就學督責ノ部

(大阪府伺) 明治十三年十二月廿四日

當府下小學生徒ノ義近來事故無クシテ私學ニ入ルノ弊有之教育上障害不少候ニ付自今學齡兒童ニシテ無謂教科不完ノ私學ニ入ル者ハ學務委員ニ於テ差止不苦候哉至急御指令有之度此段相伺候也

(指令) 一月十四日

伺之通

(福島縣伺) 一月十八日 (電報)

當縣下青年學校ノ教員ハ師範學科卒業書又ハ教員免許狀ヲ有セサルモ該學校ノ教員トスルハ差支サルヤ電報ニテ御指揮アリマシ

(指令) 一月二十日 (電報)

小學校教員ノ外教員ノ學力ニ付テハ一定ノ成規ナシ故ニ師範學校科卒業書又ハ教員免許狀ヲ有セサルモノヲ其縣青年學校ノ教員トスルト否トハ其縣ノ見込ヲ以テ處分スヘシ尤モ右ニ付制限ヲ設クルハ伺出ヘキ儀ト心得ヘシ

(三重縣伺) 一月廿九日

去ル明治八年御省第一號布達ヲ以テ自今小學々齡ノ義滿六年ヨリ滿十四年マテト被定候昨十三年布告第五十九號改正教育令第十三條ニ據レハ凡兒童ハ六年ヨリ十四年ニ



至ル八ケ年ヲ以テ學齡トスルノ明條アリ之カ月數ヲ算ス  
レハ九十六ケ月ニシテ兒童滿六年ヨリ起算シ十三年十一  
ケ月ニ至ルモノヲ云カ或ハ六年一ケ月ヨリ起算シ滿十四  
年ニ至ル者ヲ云カ之ヲ滿六年ヨリ滿十四年迄トスレハ月  
數九十七ケ月ニシテ則チ一ケ月ノ差ヲ生スト雖概シテ學  
齡八ケ年ト稱スヘキ儀ニ候哉云々

(指令) 二月十九日

書而學齡六年ヨリ十四年ニ至ル八ケ年トハ第六回ノ生日  
ヨリ第十四回生日ノ前日迄合計八ケ年ヲ指稱スル儀ト可  
心得

(大分縣伺) 五月十日 (電報)

就學督責規則起草心得第二條翌年學齡ニアリテトアルハ

翌年ノ半ヨリ學齡ニ入り又ハ出ツル者モ算入スヘキ筋ナ  
ルヤ直御指令ヲ乞フ

(指令) 五月十三日 (電報)

五月十日付電信伺ヒ就學督責規則起草心得第二條翌年云  
々ノ儀ハ伺之通

(高知縣伺) 九月廿一日

第一條 教育令第十五條毎年十六週日以上就學云々有之  
候處始テ學齡ニ入ル者該年十月以後ヨリ學齡ニ相成候  
時ハ十六週日就學スルノ餘日ナキハ顯然ノ儀ニ候得ハ  
始テ學齡ニ入ル者ノ就學取調ハ假令ハ四月ヨリ學齡ノ  
者ハ十二週日七月ヨリ學齡ノ者ハ八週日ノ比例ニ相當  
セシ時ハ教育令第十五條ニ低觸セサル儀ニ候歟



第二條 御省達就學督責規則起草心得第八條就學スル能ハサルノ事故アリト認ムヘキ事項中ニ疾病ニ罹ル者一家貧窶ノ者ノ二項アリ該二項ハ實地ニ就キ取調フヘキハ勿論ノ儀ニ候得共取扱上區々ニ相成候テハ不都合ノ儀ニ付疾病ニ罹ル者ハ醫師ノ診斷書一家貧窶ノ者ハ親戚又ハ鄰保二人以上ノ保證書爲差出候様取計可然歟

第三條 御省達小學校教員免狀授與規則起草心得第二條但書ニ本文免狀ヲ與ヘタル者ハ準訓導トナスト有之然ルニ該準訓導タル者ニシテ合格教員ニ代用スル場合ニ於テモ無論準官等無之儀ニ候歟

第四條 前條ノ通果シテ準官等無之時ハ準官吏ニ非ス又眞成ノ教員ニ非サレハ縣會議員タルヘキノ權ヲ有シ又

ハ徵兵令免役外ノ者タルヘキ歟  
右各條相伺候也

(指令) 十月十五日

書面伺ノ通

但シ第四條ハ當省ニ於テ指令スヘキ限リニ無之候事

(島根縣伺) 十一月九日

神官僧侶ノ子弟タリモ學齡間未タ小學科三ヶ年ツ課程ヲ卒ヘサル者ハ宗教學修業ノ理由ヲ以テ不就學認可候儀難相成候哉又ハ該子弟ハ一般ノ子弟ト聊カ異ナル場合モ可有之候ニ付其宗教學ニ從事スル者ハ有事故不就學ト看做シ可然哉至急何分ノ御指揮相成度此段相伺候也

(指令) 十一月廿八日



書而前段伺ノ通

(岩手縣伺) 十二月五日

先般御達ニ據リ經伺候本縣就學督責規則各縣項中小學科  
三ヶ年ノ課程ト有之ハ即チ小學校教則綱領中ノ初等科ト  
有之ト同一趣ナルハ勿論ニ候處本縣ニ於テ從前施行セル  
明治十年中改正小學教則ノ課程ハ下等ヲ八級ニ分チ學期  
ハ各六ヶ月即チ四ヶ年ナリ同十三年改正模本教則ノ課程  
ハ八級ニシテ其第八級七級ハ各六ヶ月第六級ヨリ第一級  
ニ至ルチ每級四ヶ月ノ學期トセリ然リ而テ今之ヲ就學督  
責規則中ノ三ヶ年ノ課程ニ比較スルヒハ十年改正教則ニ  
據リ教授セルモノハ其下等小學第三級即チ三年ノ學期迄  
チ卒業シタル者模本教則ニ據ルモノハ下等小學全科ヲ卒

業シタルモノヲ以テ相充テ督責方施行取計可然哉此段相  
伺候條至急何分ノ仰御指揮候也

(指令) 十二月廿三日

書面伺ノ通

學務委員ノ部

(椽木縣伺) 二月四日 (電報)

學務委員ハ專任ヲ置更ニ戶長ヲ以テ其員ニ加フヘキヤ又  
專任ヲ置カス戶長ノミヲ以テ定員トナスハ苦シカラスヤ

(指令) 二月八日 (電報)

學務委員ハ專任ヲ置キ更ニ戶長ヲ以テ其員ニ加フヘキ儀  
ト心得ヘシ

(福島縣伺) 二月五日 (電報)



本年貴省第二號御達第六條ヲ以テ一縣ノ薦舉法ト定ムル  
時ハ第一條ノ薦舉人規則ハユトニ設ケサルモ差支之ナキ  
ヤ至急御垂示ヲ仰ク

(指令) 二月八日 (電報)

本年當省第二號達第六條ヲ以テ一縣ノ薦舉規則ト定ムル  
トキハ第一條ノ薦舉人規則ハ殊ニ設ケルニ及ハス

(山形縣伺) 二月七日 (電報)

學務委員ハ數學區ヲ聯合シテ一兩名ヲ置モ又ハ數名ノ委  
員中幹事ヲ置キ常務ヲ擔當セシメ或ハ山間僻地ニテ其人  
ヲ得サルモ他ノ學區ヨリ兼務シ或ハ戶長ノミニテ幹理  
ス別ニ委員ヲ置カサルモ總テ町村ノ適宜ニ任セ苦シカラ  
スヤ

(指令) 二月十日 (電報)

數名ノ學務委員中幹事ヲ置キ常務ヲ擔當セシムルハ苦シ  
カラス其他諸件ハ町村ノ適宜ニ任ス可キモノニ非ス其都  
度事由ヲ具シ何出ヘシ

(岡山縣伺) 二月九日 (電報)

學務委員ハ百般ノ學事ニ關スルハ勿論ナレモ一郡或ハ二  
三郡聯合シテ中學校設置スルモ其中學校ノ事務ヲ取扱  
フ爲メニ該郡内ヨリ別ニ學務委員ヲ薦舉スルコト人民ノ望  
ニ任セ苦シカラスヤ御指令急ク

(指令) 二月十五日 (電報)

學務委員ハ中學校ヲ設置ノ爲メ別ニ薦舉スヘキモノニ非  
ス尤一郡或ハ二三郡聯合シテ中學校ヲ設置スル場合ニ於



テハ其關係ノ各學務委員ノ内ニテ適宜右事務ヲ扱ハシムルコトヲ許スハ妨ケナシト雖モ猶差支アル所ハ其事由ヲ具シ伺出可シ

(福島縣伺) 二月八日

教育令第十條ニ學務委員ハ小學校ヲ設置セル獨立或ハ聯合ノ區域ニ置キ戶長ヲ以テ其員ニ加フ云云有之候得ハ戶長ハ其職務上ヨリ自然教育事務ヲ幹理スルモノナルヲ以テ必ス別ニ專任委員ヲ置カサルヘカラサル儀ト相考候處管下邊僻ノ地ニ於テハ往々二十戶若クハ三十戶ヲ以テ一村ヲ組成シ一小學校ヲ取設ケ候モノ有之如此地ニ於テハ戶長ヲ除キ他ニ人物ヲ求ムヘキ道無之啻人物ヲ求ムルノ道無之ノミナラス兒童就學ノ誘導ヨリ他百般ノ事務ニ至

ルマテ自然簡易ニ相行ハレ候ニ付右様ノ實況アル地ニ於テハ特ニ專任委員ヲ置ス總テ戶長ヲ以テ掌理致サセ度此段可否至急仰御指揮候也

(指令) 二月十九日

書而伺之趣戶長ノ外別ニ學務委員ニ薦舉スヘキ人物無之トキハ其都度事由ヲ詳具シ文部ヘ可伺出候ト可心得事但事務ノ繁簡ヲ量リ專任學務委員ヲ取捨スル儀ハ不相成候事

(新潟縣伺) 二月十七日 (電報)

教育令十一條學務委員三倍薦舉内壹人撰任任期中辭スル者殘リ二人ノ内撰任シテ可ナルカ

(指令) 二月廿四日 (電報)



教育令第十一條學務委員三倍薦舉ノ内一人撰任シ其任期  
中職ヲ辭スルトキ残り二人ノ内ヲ撰任スル儀ハ其旨豫テ  
薦舉規則中ニ掲載シアレハ差支ナシ

(三重縣伺) 一月廿九日

教育令第十條各町村ハ 中略 聯合ノ區域ニ學務委員ヲ置キ  
戶長ヲ以テ其員ニ加フヘシトアリ右戶長ヲ以テ學務委員  
ニ加フルハ戶長ノ職務上ニ附帶スルモノト相心得其取扱  
ニ係ル諸費及ヒ旅費等戶長役場費 乃地 稅 ヨリ支辦シ可然哉  
又ハ學務委員ニ属スル事務ヲ取扱フ場合ニアリテハ學務  
委員ノ性質ニ變換スルモノト相心得其町村協議費ヲ以テ  
支辦セシムヘキ義ニ候哉右ハ其費用支出方ニ於テ彼是取  
惑ヒ候ニ付此段相伺候條至急何分ノ御指揮有之度候也

(指令) 三月十四日

書而後段伺之通

(福岡縣伺) 二月十日

昨十三年第五十九號公布教育令改正中左ノ件々疑議相生  
シ候條至急御明示相成度此段相伺候也

第一條 教育令第十條但書ニ人員ノ多寡細料ノ有無及ヒ  
其額ハ區町村會之ヲ評決シ府知事縣令ノ認可ヲ經ヘシ  
ト有之候得ハ其認可ヲ願出ル時ニ於テ區町會評決ノ不  
當 給料若干ヲ給スルノ力ヲアルモノニシテ給料ヲ與ヘ  
ス又區域廣濶ニシテ數人ヲ要スルニ一人ヲ置クノ類  
ヲ認ル時ハ認可ヲ與ヘサルモ妨ケナキ儀ト心得可然哉  
第二條 同第四十八條ニ町村立學校ノ教員ハ學務委員ノ  
申請ニヨリ府知事縣令之ヲ任免スヘシト有之候得ハ學



務ノ申請ニ由ラサレハ任免スヘカラスト雖モ第三十七條但書ノ趣ニ依リ品行不正ヲ認ムルキハ申請ヲ待タス直ニ免スルモ妨ケナキ儀ニ候哉

第三條 同第四十九條ニ町村立小學校教員ノ俸額ハ府知事縣令之ヲ規定シ云云ト有之然料ハ協議費ヲ以テ支辨スルモノニシテ官權ノ及ハサル處ト被存候得ハ民間ノ都合ニヨリ雇者被雇者協議相整候上ハ右規程俸額ヲ支給セサルモ妨ケナキ儀ニ候哉

第四條 同第五十條各府縣ハ土地ノ情況ニ隨ヒ中學校ヲ設置シ云々ト有之其情況トハ人家稠密ノ名邑ニシテ入學生陸續接踵スル乎若クハ入學生少シト雖モ管内廣濶其設ケ甚少ク設置ノ資力モ乏カラサルト認定スル等ノ

儀ト心得可然哉

(指令) 三月廿二日

書面伺之趣

第三條町村立小學校教員ノ給料ハ協議費ヲ以テ支辨スルモノニ候得共其俸額ハ府知事縣令ノ規程スル所ニ遵テ支給スヘキ儀ト心得事

但本文規定方ニ付テハ追テ可相達儀有之候事

其他條々伺之通

(椽木縣伺) 二月

學務委員薦舉規則ノ伺 (略)

(指令) 四月十五日

第二條學務委員ハ縣令指定スル所ノ小學校ヲ設置スル獨



立町村或ハ聯合町村ノ區域ニ置クモノニシテ數學區聯合ノ區域ニ置クヘキモノニ無之候條削除可致事

但止ムヲ得サル事情アリテ數學區聯合ノ區域ニ置クヲ要スル儀有之候ハ、詳細其事由ヲ具シ更ニ可伺

出事

第六條學務委員定員ノ二倍若クハ三倍ノ薦舉ヲ定ムルハ縣令之ヲ指定スヘキ儀ニ候條其旨趣ニ因リ訂正可致事  
第十一條戶長ハ必ス學務委員ニ加ハルヘキモノニ候ヘキ其辭令書ハ交付スヘキ儀ニ候條訂正可致事

其他各條伺之通

(山梨縣へ達) 六月十八日

本年五月二日ヲ以テ認可シタル其縣學務委員薦舉規則中

戶長ニ於テ取扱フ所ノ薦舉事務ノ儀ハ學務委員ニ於テ擔掌スルカ又ハ郡區長ニ於テ攝行スヘキモノニ有之候條更ニ其旨趣ヲ以テ訂正ノ上開申可致此旨相達候事

(三重縣伺) 六月六日

教育令第十條中戶長ヲ以テ學務委員ニ加フヘシトハ其職務上ヨリ直ニ學務委員ニ加ハリ該町村ノ學務ヲ幹理スルニ付テハ別段其辭令書ヲ付セサルモ學務委員專務者ト同一ナルモノト思量候處本年御省日誌第二號中椽木縣伺學務委員薦舉規則第十一條ニ對スル御指令ニ戶長ハ必ス學務委員ニ加ハルヘキモノニ候得共其辭令書ハ交付スヘキ云云ト有之然ルルハ戶長ハ學務委員ヲ兼務スルモノト心得其辭令書ヲ付スヘキ筋ニ候哉夫是取惑ヲ生シ候間此段



相伺候也

(指令) 六月廿一日

書而伺之趣、戸長ハ其職務上ヨリ必ス學務委員ニ加フヘキ  
モノニシテ府知事縣令ノヲ命スルハ勿論ノ儀ニ付辭令書  
交付スヘキ儀ト可心得事

(椽木縣伺) 六月八日

學務委員薦舉規則追加 (伺文略ス)

第十一條 數學區聯合ノ上學務委員中ニ就キ幹事一名ヲ  
互撰シ其聯合學區中ノ學務ヲ總理セシムルヲ得

第十二條 學區聯合區ノ幹事撰舉事務ハ總テ郡長之ヲ總  
理シ當撰人ニ當撰狀ヲ付與シ其姓名ヲ縣令ニ開申スヘ  
シ

(指令) 六月廿一日

伺之趣聞届候事

(東京府伺) 六月十六日

教育令第十條町村ハ學務委員ヲ置キ戸長ヲ以テ其員ニ加  
フヘシト有之右戸長ヲ以テ其員ニ加フヘシトハ學務委員  
ノ事務ハ戸長ノ職務中ニ包含致シ戸長ニ任スレハ即チ學  
務委員ニ加ハリタルモノナル乎又ハ其事務ハ戸長ニ於テ  
兼務スヘキ儀ニ候乎且戸長ハ學務委員ノ定員外ト相心得  
可然乎右差懸リ候儀ニ付至急御指揮有之度此段相伺候也

(指令) 六月廿一日

書面伺之趣學務委員ノ職ハ戸長ノ職ニ附帶セルモノニ付  
戸長ニ任スレハ即チ學務委員ヲ命スヘク且戸長ハ教育令



第十一條定員外ト可心得事

(岡山縣伺) 六月三日

教育令第十條町村學務ヲ幹理セシメシメシノ爲メ學務委員ヲ置キ戸長ヲ以テ其員ニ加フヘシト有之右ハ一般戸長ニ於テ必ス其職務上ヨリ加ハル義ニ付殊ニ辭令書ヲ交付スルニ不及様相心得居候處先月廿六日附學務委員撰舉規則ノ義ニ付大書記官辻新次ヨリ照會書ノ端書中任免其辭令書ヲ附與スヘキ筈ノ旨申趣候處右戸長ヨリ加ハル學務委員ノ義ハ戸長ノ職掌ト共ニ消長ヲ相爲シ特立ス可カラサル筈ニ付別途辭令書ヲ授與セサル致シ度此段相伺候也

(指令) 六月廿四日

書面伺之趣戸長ヨリ加フヘキ學務委員ヘモ其辭令書授與

可致儀ト可心得事

(福島縣伺) 六月十日

本年御省日誌第二號椽木縣伺學務委員撰舉規則中第十一條御指令ヲ閱スルニ戸長ハ中略其辭令ヲ交付スヘキ義ニ候云云ト有之候處右戸長ハ教育令第十條ノ明文有之ニ付職務上自ラ其員ニ加ハルモノニ可有之果シテ然ルモハ辭令書ヲ交付スヘキ限リニ無之様被相者候得共必ス辭令書ヲ要スル義ニ候ハ、既ニ戸長其任ニアルモ未ダ學務委員ノ辭令書交付セカル場合ニ於テハ學務ヲ幹理スルノ職權ヲ帶ヒサル義ト相心得可然乎

(指令) 六月廿五日

書而伺ノ趣戸長ヲ學務委員ニ加フルノ辭令書ハ戸長ヲ命



スルノ際ニ於テ交付スヘキ儀ト可心得事  
但現在ノ戸長ニシテ未タ學務委員ノ辭令書ヲ受ケサル  
モノ、如キハ猶其職ヲ帶ヒサルモノトス

(山梨縣伺) 五月六日

町村立私立學校幼稚園書籍館設置廢止規則略

(指令) 七月六日

書面町村立私立學校幼稚園書籍館等設置廢止規則  
第一章第一條町村立學校幼稚園書籍館等ノ設置廢止合  
併分離ノ節其方法順序等ヲ町村會ニ附スル儀ハ學務委  
員ニ於テ取扱フヘキ儀ト可心得事  
同章第八條前各條ニ係ル伺并ニ開申書ハ戸長ノ連署ヲ  
要セサル儀ト可心得事

其他都テ伺之通

(高知縣伺) 八月二日

學務委員ハ小學校ヲ設置スル獨立或ハ聯合町村ノ區域ニ  
本籍居住ノ者ヲ撰舉可致ハ勿論ノ儀ニ候處管内幅多郡和  
田村外七ヶ村ハ熟レモ小部落ニテ該委員適任ノ者無之學  
務幹理上差支候都合ニ付他村人ヲ撰舉致度旨現今伺出候  
右ハ實際不得止情實ニ付許可致シ不苦儀ニ候哉右裁可ヲ  
經候上ハ他山間僻陬ノ土地ニテ事實不得止ニ出ルモノハ  
便宜鄰村學務委員ヨリ兼務候儀モ自今當廳限リ聞届候様  
致度此段相伺候也

(指令) 八月廿二日

伺之趣聞届候事



(高知縣伺) 八月廿五日 (電報)

御省日誌ニ依レハ戶長ニテ學務委員薦舉ノ事務扱フハ差支ユルカ如シ然ルニ戶長ト雖モ學務委員ノ本文ヲ以テ取扱フハ差支ナキ儀ト心得ヘキヤ

(指令) 八月廿六日 (電報)

本月五日電報伺學務委員薦舉事務取扱方ノ件ハ伺ノ通

(新瀨縣伺) 九月十二日

御省本年日誌第二號福岡縣伺第一條學務委員人員ノ多寡給料ノ有無及其額云云其認可ヲ願出ルルニ於テ區町村會評決ノ不當 給料若干ヲ給スルノ力アルモノニシテ給料ヲ置クヲ認ルルハ認可ヲ與ヘサルモ妨ケナキ儀ト心得可然哉ノ伺ニ伺ノ通ト御指令相成候付テハ本縣下ノ如キ概

シテ學務委員ノ給料至テ些少ニシテ甚シキハ其撰ニ當ルトキハ其經費ノ幾分ヲ自辦セサルヲ得ス之カ爲メ相當ノ人物アルモ其職ニ就クヲ肯セサルノ事情有之候付テハ其民力相當ノ給料ヲ出スニ堪ユルモノニシテ不相當ノ給料ヲ付スルノ評決ヲナシ認可ヲ請フ者ハ認可ヲ與ヘス再議セシメテ差支無之哉相伺候也

(指令) 十月三日

伺之通

(靜岡縣伺) 十月一日

學務委員薦舉ノ儀ハ本年二月廿六日附テ以テ規則經伺ノ上施行致來候處土地ノ情況ニ依リ數學區聯合學務委員一名ヲ置度旨伺出之向モ有之候處右ハ教育令第十條ノ旨趣



ニ背戻シ不都合ニ候得共從來ノ慣例モ有之事務取扱上至  
便ノ儀ニ付此ノ如キ場合ニ於テハ數學區聯合ノ上各學區  
學務委員中ニ就キ總代一名ヲ互撰シ其聯合學區中ノ學務  
ヲ總理セシメ可然哉右差掛候儀ニ付至急御指揮相仰候也  
(指令) 十月十日  
伺之通

(愛媛縣伺) 十二月七日 (電報)

學務委員數名ヲ薦舉セントスルニ適任ノモノ其員ニ充マ  
スルハ他ノ學區ヨリ取リテモ宜キ歟

(指令) 十二月十三日 (電報)

本月七日電報伺學務委員薦舉ノ儀ハ縣令ニ於テ止ムヲ得  
サル場合ト認ルトキハ他ノ學區ヨリ薦舉セシムルモ苦シ

カラス

(福島縣伺) 十一月廿六日

學務委員ニシテ職務上過誤失錯アルキハ官吏懲戒例ニ準  
シ處分スル儀ニ候歟將々右ハ民屬ノモノニ付假令職務上  
過失アルモ本例ニ準スルノ限ニアラサル儀ト相心得可然  
乎此段相伺候也

(指令) 十二月廿七日

書面伺ノ趣官吏懲戒例ニ據リ處分スルヲ得ル儀ト可心  
得事

(千葉縣伺) 十二月十日

第一項 戶長ヨリ加ル學務委員ノ議ハ職務ノ爲メニ此ノ  
任ヲ受クル儀ニ付其給料ハ專任學務委員ニハ之ヲ給ス

學務職

學事法規類纂

參編

廿三

聚珍社藏



ルモ別ニ支給スルヲ要セサル義ニ有之候歟又ハ町村會ノ評決ニヨリテハ他ノ専任ノモノト齊シク若干ノ給料ヲ與ヘ不苦義ニ候歟若シ之ヲ給與スルトセハ其多寡ハ専任ノモノト同等ナラサルモ妨ケ無キ義ニ候歟

第二項 戸長ヨリ加ル學務委員ノ旅費日當モ前項給料同様相心得可然哉

右仰御指揮候條至急御指令相成度此段相伺候也

(指令) 十二月廿八日

書面伺ノ通

第一項 戸長ヨリ加ハル學務委員ノ給料ハ別ニ支給スルハ妨ナキ儀ト可心得事

第二項 戸長ヨリ加ハル學務委員ノ旅費日當ハ専任學務委員同様ノ儀ト可心得事

(千葉縣伺) 明治十四年十一月十三日

教育令第十條ノ主旨ニヨリ戸長ヨリ加ル學務委員ノ義ハ本年一月已來御省ヨリノ御達又ハ御指令等ニ由テ者フルニ止ル場合ナルモ其ノ掌ルトコロノ教育事務ハ唯々自己管理ノ町村ニ止マラス一小學全般ニ及ホシ不苦儀ト被認候得共學區内一部町村ノ戸長ニシテ學務委員タル時ノ自己管理已外ノ町村事務ヲ取扱候筋ニ相當リ聊疑義ニ涉リ候間爲念仰御明示候差懸候儀ニ付至急何分ノ御指揮被下度此段相伺候也



(指令) 一月十八日  
書面伺之通

但學務委員事務分掌ノ都合ニ因リ戸長ヨリ加ハル所ノ  
學務委員ヲシテ該町村ノ學事ニ限リ措辦セシムル儀ハ  
苦シカラズ候事

(三重縣伺)

明治十四年十一月廿日

町村學務委員職務上過誤失錯等有之節ハ明治九年六月八  
日太政大臣内達第一項ニ準シ縣令ノ見込ヲ以テ適宜處分  
致可然哉又ハ該委員ノ如キハ進退給料等都テ人民ノ協議  
或ハ撰舉ニ成立モノニ付教育令改正前後ニ關ハラス懲戒  
ノ限リニ非ラズヤ果テ然ハ若シ學事年報等ニ誤調アリ隨  
テ其誤ヲ傳ヘ若干ノ影響ヲ與ヘ不都合有之節ハ如何取計

可然哉右ハ内務卿御指令ノ次第モ有之相伺候尤モ目下關  
係ノ件有之候條駛急何分ノ御指揮有之度此段相伺候也

(指令)

一月二十八日

(電報)

昨十四年十一月廿日伺學務委員公事失錯處分ノ儀ハ前段  
伺ノ通

(德島縣伺)

一月十三日

教育令第十條但書之旨趣ニ據レハ學務委員ノ給料旅費職  
務取扱費等ハ町村會之ヲ評決シ府知事縣令ノ認可ヲ經ヘ  
キ儀ニ有之而ノ縣令ニ於テ其評決ノ金額不適當ト認ムル  
場合アルトキハ之カ認可ヲ與エスシテ更ニ評決セシムル  
キハ勿論之儀ト存候就テハ豫メ給料等ノ金額左記之割合  
ヲ以テ管下ニ指示シ其標準ヲ畫定シヨランニハ再ヒ町村

學務職

學事法規類纂

卷編

廿五

卷終世載



會ヲ開カシムル等ノ煩ヲ省キ學事獎勵上ニ利便ヲ與フル  
小少ナラサル儀ト存候御指支無之儀ニ候哉至急御指揮相  
成度此段相伺候也

給料等指定額

學區別	費目	給料	職務取扱費	旅費
人口二千以上ノ學區	七圓以上	一年十圓以上	並旅行日當五十錢以上	
人口二千以下ノ學區	五圓以上	一年八圓以上	滯在日當廿五錢以上	

但山村僻地等ニシテ本額ノ金員ヲ支給シ得サル情由  
アルモノハ之ヲ斟酌スルモノトス

(指令) 二月三日

書面伺ノ通

(新潟縣伺) 一月十二日

學務委員ハ每學區必ス一兩名ヲ置クハ勿論ノ儀ニ候處本  
縣下ノ如キハ地勢ト習慣トニヨリ獨立小學校一町村ヲ以  
テ學區ヲ定候場所多分有之候ニ付委員ノ數モ隨テ多ク實  
際上却テ事務澁滞ノ憂モ可有之ト相考候ニ付右等ノ位置  
ハ數學ヲ聯合シ聯區内ノ委員中互撰ヲ以テ幹事ヲ置キ聯  
區内ノ事務ヲ總理セシメ度就テハ學務委員薦舉規則中別  
紙ノ通追加致シ度相伺候至急御指揮相成度候也

(別紙)

學務委員薦舉規則中ニ追加

第十一條 學區ノ境界及ヒ人口等狹少ニ過ル者ハ數學區  
ヲ聯合シ聯區内委員中ヨリ幹事二名ヲ互撰シ聯區内ノ  
學事ヲ總理セシムル事ヲ得ル



但本條ノ場合ニ於テハ聯合町村學務委員連署ノ上郡區役所ヲ經テ縣廳ヘ伺出スシ

第十二條 學區ヲ聯合シ聯區内學務委員幹事ヲ置クハ其撰學事務ハ總テ郡區長之ヲ總理シ當撰人ニ當撰狀ヲ付與シ其姓名ヲ縣廳ニ開申スヘシ

(指令) 二月七日

書面伺之通

學事表夕部

(島根縣伺) 七月四日

貴省本年第十號御達學事表簿樣式ノ内乙號第四式町村立及私立小學校并丙號第二式町村立及私立小學校一覽表(甲)中ニ掲載有之副學科ハ農工商等ノ學科ヲ指稱スル論ニ候

哉伺分ノ御指揮相成度此段爲念相伺候也

(指令) 七月十九日

伺之通

(新潟縣伺) 八月五日

本年四月第十號御達學事表簿樣式ノ儀ハ學事年報等ノ如ク各府縣同一ナルヲ要シ適宜斟酌ヲ加ヘ調製スル能ハサルモノニ候哉右御達中樣式ニ準シ云々及就學督責規則御指令六月但書ノ旨趣ヲ玩味スレハ之ニ準シ適宜斟酌ヲ加ヘ致調製可然哉ニモ被解聊カ疑惑ニ涉リ候ニ付此段相伺候條至急御指揮相成度候也

(指令) 八月十二日

書面伺ノ趣斟酌増減等致候節ハ更ニ可伺出專



表簿之部

(長崎縣伺) 四月二日 (電報)

縣立學校年報會計ハ其年度ニヨリ取調フ可キヤ

(指令) 四月六日 (電報)

縣立學校會計ハ曆年度ニテ取調フヘシ

中學校ノ部

(島根縣伺) 八月二十日

今般貴省第二十八號ヲ以テ中學校教則大綱御達相成候ニ付テハ公立縣立町村私立ノ別ナク該大綱ニ據リ編製スヘキ勿論ニシテ右ノ中某ノ一科ヲ欠クモ則中學ノ資格ヲ具ヘサルモノニ付中學校ト稱スルヲ得サル義ト被存候處土地ノ情況若クハ不得止事變アリテ當分ノ間某ノ一二科ヲ

欠クカ如キハ尙中學校ト稱シ可然哉又ハ右様ノ如キモノ

ハ當分ト雖モ中學校ト稱スルヲ得サル義ニ候哉

土地ノ情況ニヨリテハ高等科ヲ置カス初等科而已ヲ置ク

モ不苦哉

中學科表中ニアル和漢文ハ文章學ニアラスシテ汎ク和漢

學ヲ指ス義ニ候哉

中學校教則大綱ノ第十一條但書ニ修業年限ヲ伸縮スルコ

ト得ヘシトイヘモ一ケ年ヲ過クヘカラスト有之候處右ハ

初等科四ケ年又ハ高等科ノ二ケ年ヲ各一ケ年以内ハ伸縮

シテ不苦主意ニ候哉

右至急何分ノ御指令相成度此段相伺候也

(指令) 九月十五日



書面伺ノ趣

第一項 前段土地ノ情況若クハ止ムヲ得サル事實アリ  
テ當分ノ間一二ノ學科ヲ欠クカ如キハ該學科並ニ其  
事由等ヲ具申スルニ非サレハ何分ノ指令ニ及ヒ難ク  
候事

第二項 伺ノ通

第三項 和漢文ハ文章學ヲ指シ汎ク和漢學ヲ指スモノ  
ニアラサル儀ト可心得事

第四項 修業年限ヲ伸縮スルハ初等高等兩科修業年限  
六ヶ年ノ内ヨリ一ヶ年以内伸縮スルヲ得ル儀ト可心  
得事

(新潟縣伺) 十二月六日

管下公立中小學校教員ニシテ修身教育等學科上ノ演說及  
ヒ教育衛生雜誌ノ編輯長ト爲リ論說編輯ヲ爲ス者許否ノ  
義ニ付本年十月五日相伺候處十月十日電報ヲ以テ公立學  
校教員タルモノ公衆ヲ集メ講談演說ヲ爲シ及ヒ雜誌類ノ  
編輯ヲ爲スハ不相成旨御指令相成然ルニ若シ右教員ニシ  
テ雜誌類ノ社長幹事世話掛印刷長等ト相成如キモ同様不  
相成義ニ候哉差掛リタル事件モ有之候ニ付至急何分ノ御  
指揮相成度此段相伺候也

(指令) 十二月廿八日

書而伺ノ趣公立學校教員タル者雜誌類ノ社長幹事世話掛  
印刷長等トナリテ營業スルハ不相成儀ト可心得事

學校職員之部



(岡山縣伺) 一月廿五日 (電報)

私學ト雖モ小學普通學科ヲ具フル者ハ教育令第三十八條及ヒ但書ニ依リ取扱ヒ宜キヤ御指令電報ニテアリタシ

(指令) 一月廿八日 (電報)

小學校教員私學ト雖モ教育令第三十八條及ヒ但書ニ因リ取計フヘキハ勿論ノ儀ト心得ヘシ

(山形縣伺) 二月九日 (電報)

改正教育令第三十八條小學教員ハ公立私立ノ別ナク總テ師範校證書ヲ有スルモノ又ハ但書ノ免狀ヲ得タルモノニ限ル御趣意カ至急伺フ

(指令) 二月十五日 (電報)

小學教員ノ制限伺之通

(岡山縣伺) 二月十七日 (電報)

第六號達第二條教員免許狀ノ効五ケ年ヲ過クヘカラスト雖一年或ハ二三年中絶シ再勤ノ時ハ右免許狀ノ効ヲ引繼存有スルモノカ至急御指令電信ニテアリタシ

(指令) 二月廿五日 (電報)

教員免許狀ハ若其縣ニ於テ期限ヲ五ケ年ト定ムルハ其業ヲ中絶スルト否ヲサルトニ拘ハラスコレヲ渡シタルトキヨリ向五ケ年ノ間其効ヲ有スヘシ

(熊本縣伺) 三月三十一日

管内町村立小學校ノ中校長雇入候儀開申候向有之然ルニ教員ハ縣令ノ監督ニ屬シ進退共其辭令ヲ交付スヘキ成規ニ付其上位ニ在ル校長ニモ辭令書ヲ交付セサレハ聊カ權



衡ヲ失ヒ可申ト存候間校長ノ儀モ其町村人民ノ具申ニ依  
リ進退共其辭令ヲ交付シテ不苦哉の例モ無之ニ付此段相  
伺候也

(指令)

伺之通

(新潟縣伺)

六月廿九日

(電報)

學校長教員等ヲ任用スルニハ何校長何等訓導及准官等ノ  
辭令ヲ渡スヘキカ伺フ

(指令)

七月二日

(電報)

學校長教員等ヲ任用スルニハ何學校長何學校何等訓導等  
ニ任スルノ辭令ヲ渡シ且學校長ニハ准官等ヲモ記入スヘ  
シ教員ニハ准官等ヲ記入スルニ及ハス

(大分縣伺)

五月十九日

敷町村又ハ全郡内共立中學校事務管掌方ノ儀ニ付本年二  
月學甲第十一號ヲ以テ相伺候處去二日付ヲ以別ニ學務委  
員ヲ薦舉セシムルハ不相成但通常ノ學務委員ノ中ヨリ幹  
事等ヲ定テ適宜該事務ヲ管掌セシムルハ苦シカラサル旨  
御指令ノ趣致敬承候因テ反覆勘考候處學務委員ナルモノ  
ハ根元小學校ヲ設置スル獨立或ハ聯合ノ町村中ヨリ薦舉  
セルモノニシテ他ノ學區ニ關涉スル職掌無之然ルニ公立  
中學校ノ如キハ其部下幾多ノ小學區域ニ跨リ其事務ニ於  
テモ小學校ニ關係セサルモノト認メ候然ル處通常ノ學務  
委員中ヨリ幹事等ヲ定メテ該校事務ヲ管掌セシメントセ  
ハ假令ハ甲學區ノ學務委員ハ乙學區ニ異議アリ丙學區ノ



學務委員ハ遠地ニ赴任ノ爲メ本務ヲ拋棄スル等彼是不便  
 ナ生シ候様相考候因テ學務委員ノ名ヲ帶ル者ニ就テ之ヲ  
 定メテ更ニ校長若クハ幹事等ノ名義ヲ以テ該校部下一般  
 ヲリ薦舉セシメ校内事務ヲ管掌セシメ候様致度然ルモハ  
 學資準備等ノ事件ハ部下各學區學務委員ニ於テ之ヲ擔當  
 シ校内ノ庶務ハ校長若クハ幹事等ノ職掌ニ屬シ混淆不便  
 ノ病無之様見込候御差支ノ儀ハ有之間敷哉何分ノ御指令  
 有之度此段相何候也

(指令) 七月六日

書而町村立中學校ニ學校長ヲ置ノ儀ハ伺ノ通但其任免共  
 教員同様可取計事

(椽木縣伺) 六月廿日

今般大政官第五十二號公達ヲ以府縣立町村立學校職員名  
 稱並准官等御定相成候上ハ右ノ外府縣立學校ニ於テ幹事  
 若クハ書記等町村立學校ニ於テ書記若クハ會計掛等ノ職  
 員名稱縱令准官等以外ニテモ地方限相設候儀ハ不相成筋  
 ニ可有之哉至急御明示相成度此段相何候也

(指令) 七月十一日

伺之趣便宜相設ケ不苦候事  
 但准官等ノ儀ハ本年第五十二號公達ノ外不相成ハ勿論  
 ニ候事

(茨城縣伺) 六月廿九日

本月太政官第五十二號及御省第二十三號ヲ以テ府縣立學  
 校職員名稱并ニ准官等御達相成候處本縣々立醫學學校之議



ハ師範學校中學校ト同規模ニ付職名准官等渾テ該校ニ準  
據制定致度此段相伺候也

(指令) 七月十一日

書而伺之通

(長野縣伺) 七月一日

御省本年第六號御達ニ基キ高等若クハ中等若シクハ初等  
ノ小學科ヲ教授スルヲ得ルニ足ルモノニハ各其學力ニ應  
シ該等ノ教員ハ免許狀ヲ授與シタル後小學校へ在勤スル  
ニ當テハ本年第五十二號公達ニヨリ都テ訓導ト相稱シ苦  
シカラサル義哉又ハ高等小學科教員タルヘキヲ證明セシ  
者ノ師範學科卒業ニ稍恰當ニ限リ該稱ヲ附スルモ中等若シ  
クハ初等ハ學力全備セサルモノニ付小學訓導ト稱スルコ

ヲ得サル義トモ被者候方今該規則編製ニ際シ聊疑義相傳  
シ候ニ付相伺候條至急何分ノ御指揮仰望候也

(指令) 七月十六日

書而伺之趣小學校教員免許狀ヲ有スル者ハ總テ訓導ト稱  
スルヲ得ヘキ儀ト可心得事

(山梨縣伺) 七月四日

今般太政官第五十二號ヲ以テ府縣立町村立學校職員名稱  
并准官等御制定相成候處右ノ内學校長准官等ノ義ハ府縣  
立ハ八等以下十等マテ町村立ハ十一等以下十三等迄ニシ  
テ其間ニ於テ適宜相定ム可キモノ、如ク相見ヘ候處右ハ  
其人ニ依リ差等ヲ附ス可キカ又ハ豫メ一定ノ准等取極メ  
置可然哉疑義相生候ニ付至急御指令相成度此段相伺候也



(指令) 七月十九日

書面伺之趣太政官本年第五十二號公達學校職員准官等ノ儀ハ府縣立町村立ノ別ナシ其前表ニ係ルモノヲ以テ師範學校中學校等ニ擬當シ其後表ニ係ルモノヲ以テ小學校等ニ擬當スヘク且學校長准官等ハ豫メ之ヲ一定スルモ將タ否ヲサルモ其縣ノ便宜タルヘキ儀ト可心得事

(岡山縣伺) 七月八日

本年六月太政官第五十二號ヲ以テ府縣立町村立學校職員名稱并准官等被相達候ニ付左ノ兩條相伺候哉  
一師範學校中學校長准官八等已下十等以上ニ候處本縣師範學校中便宜ヲ以テ副校長設置罷在候條右ハ校長ニ準シ適宜官等付與致シ不苦候哉

一町村立中學校長郡區書記ヨリ兼務申出候節官等相當ノ者ニ候ハ、無論差支無之義ト存候得共自然十一等已下ノ書記ニテハ之カ爲メ進等難致場合モ有之小學校長モ之ニ準シ候義ニ付右ハ其官等ノ儘兼務爲致不苦候哉  
右夫々何分ノ御指揮相成度此段相伺候也

(指令) 七月廿三日

書面伺ノ趣難聞届候事

雜則ノ部

(愛媛縣伺) 二月九日

今般御省第七號ヲ以テ府縣學務課處務規程及該課吏員ノ姓名等開申可致旨御達相成候處右吏員トアルハ判任本官ノ者ニシテ准等内外御用掛及等外吏ノ如キハ開申ニ及ハ



サル儀ト相心得可然哉爲念此段相伺候也

(指令) 三月十五日

書面伺之趣判任本官ニ限ラス準等内外御用係及等外吏等  
學務課吏員ハ總テ開申スヘキ儀ト可心得事

神奈川縣上申) 三月十四日

今般御省第八號ヲ以テ郡區書記中學務擔任者ノ姓名官等  
及俸給此際取調開申可致旨御達ノ趣繼承然ル處地方費額  
兼テ縣會決議ノ都合モ有之ニ付追テ書記増置ヲ遂ク候迄  
ハ先從前ノ通り書記中ヨリ事務兼掌爲致別段此際現任ノ  
者姓名等上申不及候様致度此段及具申候條御聞置有之度  
候也

(指令) 三月十八日

書面上申ノ趣學務兼掌ノ者ト雖モ其姓名等開申可致事

(福島縣伺) 明治十三年十一月五日

本年太政官第十八號公布區町村會法第一條ニ區町村會ハ  
其區町村内ノ公共ニ關スル事件及其經費ノ支出徵收方法  
ヲ議定スト有之候處小學校ハ其町村内學齡子女ヲ教育ス  
ル場所ニ候得ハ教育ニ關スル事務ハ即チ町村内公共ノ事  
件ニ可有之果ソ然ルキハ第十八號公布第一條ニ依リ總テ  
町村會ノ議ニ附スヘキモノニ相見候得共尙之ヲ審按致候  
ニ右第一條タル括稱シテ公共ノ事件ト云ト雖モ分チテ之  
ヲ觀ルキハ別紙甲號各項ノ如キハ教育令第十條第十二條  
ニ依リ學務委員ニ於テ規則條章ヲ取設ク戶長ト商議ノ上  
縣廳ノ認可ヲ得テ執行スヘキモノニシテ町村會ニ於テ議



定スヘキ限リニ無之儀ト相心得可然哉然ラサレハ教育令第十條第十二條學務委員ノ職務ニ属スル事務ハ總テ町村會ノ議定ヲ經サレハ執行スヘカラサルモノニ相見ヘ取扱上疑義ヲ生シ候條可否至急御指揮相成度此段相伺候也

但乙號小學教員賞與及雇人雇止ノ如キ費用ニ關スルモノハ甲號小學資ヲ議定スルキニ當リ學務委員ニ於テ其豫算ヲ起シ町村會決定ノ上便宜之ヲ執行スルハ委員ノ職掌ニ在ルモノト被存候ニ付右ノ順序ニテ取定可然乎將又甲號小學校新築及小學區合併ノ如キハ議會ニ於テ決定スト雖モ其執行ハ專ラ教育上ノ得失ニ關スルニ付縣廳ノ認可ヲ得テ施行候様取定メ可然乎此段モ添テ相伺候

(別紙)

甲 號

- 一 小學資金ノ事
- 一 小學校新築及營繕ノ事
- 一 小學校ノ維持法ヲ設クル事
- 一 小學區ヲ合併若クハ分離スル事
- 一 校有ノ土地ヲ賣却シ若クハ買入ル、事
- 一 校舍ヲ移轉スル事
- 一 小學分校ヲ設置スル事

乙 號

- 一 小學校教則ノ事
- 一 全校則ノ事



- 一 學齡兒童就學督勵方法ノ事
- 一 小學教員雇入雇止ノ事
- 一 教員ト締約ヲ取設クル事
- 一 小學生徒賞罰規則ノ事
- 一 小學教員賞與法ヲ設クル事
- 一 巡回教員ノ方法ヲ設クル事

(令令) 六月廿四日

書面伺之趣學務委員ニ於テ教育令第十條及第十二條ノ職務ヲ措辦スルニ方リ其町村會ニ付スヘキモノト否ヲサルモノトノ區分ハ例規アルモノ、外町村人民協議ノ上縣令ノ裁定ヲ受ケシムヘキ儀ト可心得事

(愛媛縣伺) 七月九日 (電報)

學事ニ付町村聯合會ノ評決ハ地方ノ便宜ニ因リ學務委員又ハ郡長ニテ施行シテ宜キカ指令急シ

(指令) 七月十六日 (電報)

本月九日付電報學事ニ係ル町村聯合會ノ儀ハ伺ノ通

(椽木縣伺) 七月五日

本縣醫學校ノ義ハ管内醫員タルヘキ者ヲ養成スル專門學校ニテ其組織ハ曩日開申セシカ如クニテ該校ノ等位タル師範學校中學校ニ準シ職員名稱學官等相定可然ト存候條伺分ノ御指揮有之度此段相伺候也

(指令) 七月十九日

書面伺ノ通

(長野縣伺) 七月廿一日



學事改正着手ニ際シ疑義相生シ候事項左ニ相同候

第壹條 教則綱領中農商工學ノ初歩ハ小學教則ニ編入セ

ス別ニ綱領中ノ程度ヲ示シ置キ土地ノ情況ニヨリ該學科ヲ加ヘントスルモノハ科程及ヒ書目等伺出サセ不都合ナキト視認スルトキハ縣廳限リ認可シテ苦シカラス候哉

候哉

第二條 教育令第廿九條ニヨリ教員ノ俸給旅費額ヲ規定

シ何等訓導ニ任シ該小學校在勤ヲ命シ其後町村會等ニテ校費額ヲ減シ到底該等ノ俸額ヲ給スル能ハサルトキハ町村會ノ決議ヲ廢棄シ再議ヲ命スルモ妨ケナキ義ニ候哉

第三條 同令十七條ニ基キ學校ニ入レス巡回授業ニ依ラ

スシテ別ニ普通教育ヲ授ケントスルモノハ町村立私立

小學校ト同様縣令ヨリ頒布スル教則ニ據ルヘキ義哉又ハ同令第三條ノ學科ヲ具備スルトキハ教則等隨意ニ施設シ縣廳ノ認可ヲ經サルトモ妨ケナキ義ニ候哉

第四條 同令第四十八條ニ町村立學校ノ教員ハ學務委員

ノ申請ニ因リ云々ト有之學務委員ヨリ申請セシムルノ旨趣ハ假令ハ何ノ誰ヲ以テ何等訓導何々學校在勤被命度旨ヲ申請セシムル義乎或ハ何々學校ハ訓導壹名在勤被命度旨ヲ申請セシムル義乎若シ前段伺ノ旨趣ナルトキハ申請ノ等級ニ教員アルモ計ラノス抱ハラス相當ノ等級ヲ附シ在勤申付苦シカラサル義ニ候哉

第五條 同令第十條中戶長ヲ以テ其員ニ加フ云々ト有之



戸長ニシテ學務ヲ取扱フ際ニ至テハ學務委員ノ名義ヲ以テ可取扱義ハ嘗テ就學督責規則相伺候節ノ御指令ニヨリ了解仕候然ルニ學事ニ關スル事件ト雖モ戸長ノ勤ヲ以テ可取扱事件往々可有之如斯場合ニ於テハ其肩書ニ戸長學務委員ト併記シ可然儀ニ候哉

第六條 同令第九條學區指定方ニ就テハ本年御省第一號御達ノ次第モ有之候處當縣下ノ如キ假令ハ從前甲乙丙ノ數町村合併シ當時一町村トナスモノ夥多ニシテ自然學區ノ廣狹大小ノ差等ヲ生スルハ勿論加之目下分離復舊ヲ請願スル町村モ不尠如斯類ニ至テハ學區指定ニ差間候場合モ有之右等ハ差向假ニ學區ヲ指示シ追テ確手タル學區指定スヘキ見込ヲ以テ取調可然ヤ

第七條 御省本年第廿四號御達小學教員免許狀授與方心得書第三條中免許狀ノ効チ有スヘキ年限ハ五箇年以内ト有之若シ其年限ヲ三ケ年ト決定セハ三ケ年目毎ニ必ス學力ヲ檢定スヘキハ勿論ナリ然ルニ平素授業ノ効著シルシク學力モ亦大差ナキモノト認定スル類ニ至テハ敢テ檢定法ニ據ラス直チニ前年ノ免許狀授與候モ告シカラサル義ニ候哉

第八條 御省本年第十七號御達ニ基キ小學生徒定時試業臨時試業ノ方法等取調可相伺義ハ勿論ニ候得トモ當縣ニ於テハ從來每級卒業ノ後猶又全科卒業試驗ヲ舉行シ其及落ヲ判定シ來レリ右試檢法モ同様可相伺義ニ候哉且右試檢舉行ノ上ハ初等學科第一級即チ三年後列ナキ



業シ其卒業狀ヲ得タルモノト雖モ其全科試験ニ落第シタル者ハ三年ノ科程ヲ卒ヘサル者ト見做取扱可然哉  
第九條 御省本年第十號御達表簿様式甲號第一式中從前ノ教育記載方ハ假令ハ小學科第何級トカ又ハ何々級ト記載スヘキ哉

第十條 同乙號第四式中副學科トアルハ豫科學ノ類ト相心得可然哉

第十一條 同號第五式中學校建築種別トアルハ洋風和風ノ種別貳階平家等ノ區別ノ記載シ借家ノ向ハ單ニ借家ト記載シ可然ヤ

第十二條 同丙號第二式中至學期年數トアルハ土地ノ情況ニ因リ高等小學科ヲ修ムル能ハス中等科ニ止ル如キ

學校ハ六年ト記載シ可然哉

第十三條 本年第五十二號發達縣立學校教員ノ名稱ハ一科専門ノモノト雖モ教諭助教諭ノ稱ヲ附シ苦シカラサル義ニ候也

右ノ項々至急何分ノ御指揮相成度此段相伺候也  
(指令) 八月十七日

書面伺之趣

第一條 農商工學ノ初步ハ縣令ニ於テ必用ト認メサルトキハ尋常ノ課程中ニ編入セス別ニ程度ヲ示シ置クモ苦カラス尤該學科ヲ加ヘントスル學校アルトキハ教育令第二十三條但書ニ據ルヘキ儀ト可心得事  
第三條 學齡兒童ヲ學校ニ入レヌ又ハ巡回授業ニ依ラ



スシテ別ニ普通教育ヲ授ケントスルモノハ必スシモ  
縣令頒布ノ教則ニ據ルヘキモノニアラスト雖モ其學  
科課程等ノ大略ハ豫メ郡區長ノ認可ヲ經ヘキ儀ト可  
心得事

但教育令第十七條但書ニ據リ郡區長ニ於テ兒童ノ  
學業ヲ試檢セシムルトキハ其町村立小學校試檢ノ  
格ヲ準用致シ可然事

第四條 前段伺ノ通

但學務委員申請中其人名ヲ指定セサルモ苦カラス  
且申請スル等ノ人物并等級等或ハ不適當アリト認  
ムル時ハ其適當スル迄再三改テ申請セシメ可然事

第五條 學事ニ關スル事件ハ一切戶長ヲシテ取扱ハシ

ムヘキモノニ無之候事

第六條 本年第三十八號公布ニ準據シ其學區ヲ指定致  
シ可然事

第七條 伺ノ通

但試檢ヲ行ハスシテ認定スルモ亦檢定法ノ範圍内  
ニ屬スル儀ト可心得事

第八條 前段ハ伺ノ通後段ノ儀ハ初等科第一級即三年  
後期ノ卒業狀ヲ得タルモノヲ以テ小學科三ケ年ノ課  
程ヲ卒ヘタルモノト認メ可然事

第九條 伺ノ通

但幼稚園ノ保育ヲ受ケ又ハ何學校ニ入り某學科ヲ  
卒フル等ノ儀モ記載スヘキコト勿論ニ候事



第十條 例ハハ小學校教則ニ在テ農業商業工業ノ初步  
ヲ加フル類ヲ指シタル儀ト可心得事  
其他各條伺ノ通

學務職 員必携 學事法規類纂參編畢

明治十六年二月十四日出版々權願  
全 三月九日版權免許  
全 十七年五月 出版

(定價拾八錢)

編輯兼 大阪府平民  
出版人 高橋直吉

大和國宇智郡須惠村  
第六十九番地

印 行 聚 珍 社

大和國五條北之町  
第四百八十二番地

發行書肆 松村九兵衛

大阪心齋橋助南一丁目  
第四十九番地



佐野煥先生註解

孝經 蠡測

定價金壹拾三錢

福岡廣業著述

勸解 獨案 丙

定價金壹拾五錢

一名勸解願書式

吉野煥先生題字

宋文天祥正氣歌句解

定價金壹拾五錢

高橋直吉編輯

學務職員必携 學事法規類纂初編

定價金壹拾錢

同 貳編

定價金三拾五錢

三吉道保編輯

地小誌 復習問答

定價金八錢



CZ  
613  
088